

令和4年(2022)8月教育委員会定例会 会議録

令和4年(2022)8月24日(水)午後3時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所3階庁議室に招集した。

1 会議に出席した者

教育長	杉谷 学
教育委員(教育長職務代理)	金築千晴
教育委員	内藤祐馬
教育委員	高橋 詠
教育委員	川田量子

2 説明のため会議に出席した者

副教育長	安井孝治
教育部次長	山崎 創
教育部次長	園山裕二
教育部(子ども未来部)次長	金築健志
教育政策課長	常松博雄
学校教育課長	福間耕治
児童生徒支援課長	松井博之
出雲学校給食課長	林 辰昭
出雲科学館	鬼村修治
学校教育課主査	山本芳正
児童生徒支援課課長補佐	妹尾博貴

3 会議の書記

教育政策課課長補佐	池尻精二
-----------	------

4 傍聴者

0名

開会

(杉谷教育長)ただいまから、令和4年8月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議は、お手元に配付しておりますとおり行いますので、よろしくお願いいたします。

1 感謝状の贈呈

(杉谷教育長)まずはじめに、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。常松教育政

策課長お願いします。

(一同起立・整列)

(常松教育政策課長)ただいまから、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、多伎中学校・多伎中学校地域学校運営理事会から推薦されました 竹下佳孝様 でございます。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

(ご功績の紹介)

(常松教育政策課長)それでは、杉谷教育長から、感謝状を贈呈します。

(杉谷教育長、感謝状と記念品を贈呈)

(常松教育政策課長)それでは、ここで、竹下さまから一言ご挨拶をいただきます。

(竹下佳孝様) (挨拶)

(常松教育政策課長)ありがとうございました。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。ここで、写真撮影を行いますので、みなさまお願いいたします。

2 教育長行政報告

(杉谷教育長)まず、「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

1 前回以降の動向 (前回 R4. 7. 26)

R4.7. 27	市長と校長会との懇談会
R4.7. 28	定例記者会見
R4.7. 29	市議会全員協議会
R4.8. 2	県知事・県教育長要望(松江市)
R4.8. 3	フレンドシップ事業、中学生サミット
R4.8. 4	島根県人権教育研究大会(ビッグハート出雲)、教育政策審議会
R4.8. 11	出雲市戦没者追悼・平和祈念式典(出雲市民会館)
R4.8. 19	校長の会議(弥生の森博物館)
R4.8. 20	同和教育講演会(出雲市民会館)
R4.8. 22	教育政策審議会
R4.8. 23	定例記者会見
R4.8. 24	イクボス講演会、定例教育委員会、まちづくりミーティング(東地区)

2 今後の予定

R4.8. 29	平田4地区再編統合推進委員会(国富コミセン)
R4.8. 30	市議会開会 全員協議会

	一般質問 予算特別委員会 文教厚生常任委員会 決算特別委員会
R4.9. 1	市防災訓練
R4.9.22	市長の学校訪問(第一中)
R4.9.27	市長の学校訪問(平田中)、 定例教育委員会

3 会議録の承認

(杉谷教育長)続きまして、会議録の承認に入ります。前回7月定例会の会議録について、何か意見等はありませんか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)特に意見等がありませんので、7月定例会の会議録については承認することといたします。署名については、会議終了後にお願いいたします。

4 議事

(杉谷教育長)それでは、ここから議事に入ります。まず、「議第31号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を議題といたします。教育政策課 常松課長に説明をお願いします。

(常松教育政策課長)資料を用いて説明

(杉谷教育長)さきほどの説明につきまして、委員のみなさまから質疑ございませんでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)ないようでございますが、「議第31号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認することについて、ご異議ございませんか。

(各委員)異議なし。

(杉谷教育長)ご異議ございませんので、「議第31号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を承認といたします。議事の方は、以上で

終了します。

5 報告

(杉谷教育長)続いて、報告に入ります。「令和4年度全国及び市学力・学習状況調査に係る結果について」、福間学校教育課長から説明をお願いします。

(福間学校教育課長)資料を用いて説明

(杉谷教育長)さきほどの説明に委員のみなさまから質疑がございませんでしょうか。内藤委員。

(内藤委員)今後学力テストと言うのも、何か、ICTの活用とか、そういう方向に向いていくのでしょうか。

(杉谷教育長)福間学校教育課長。

(福間学校教育課長)徐々にICTを活用した調査に代わっていくということです。今、国では、実証が行われております。今年度の場合学習状況調査の方が、手上げ方式で実施されました。本市の方から3つの小学校がタブレットで回答しました。まだ、国で実証されているところではありますが、令和6年度から段階的に本格実施という形になると聞いております。ただ、その段階的というのが、指定なのか、手上げ方式なのかということは、示されていません。いずれにしましても、タブレットにより回答していくことになろうかと思います。

(杉谷教育長)内藤委員。

(内藤委員)このまとめられたのを見ていて、わかった人が見れば良いのですけれども、関わってない人が見るとなんだろうなという感じだと思ってしまうところがあります。タブレットにされるということは、こうやってまとめられても、見やすくなるということだと思います。今後、そういったことをもっともっと活用して、分析をしっかりとしていけばいいのかなと思います。これは、僕の思った意見です。

(杉谷教育長)ありがとうございました。他の委員さんいかがでしょうか。どうぞ。

(内藤委員)このアンケートもタブレット方式でやっていかれる方向でしょうか。

(杉谷教育長)福間学校教育課長。

(福間学校教育課長)そのとおりだと思っております。

(杉谷教育長)他にないようでございますので、「令和4年度全国及び市学力・学習状況調査に係る結果について」は、以上で終了といたします。次に、「市立幼稚園のあり方の検討について」、子ども未来部金築次長から説明願います。

(金築子ども未来部次長)資料を用いて説明

(杉谷教育長)さきほどの説明に対しまして、委員のみなさまから質疑ありませんか。内藤委員。

(内藤委員)質問です。内部検討会議というものをされて、より効果的でというところの幼児教育というところですが、どういったことが言われたいのか。少なくなったから、もっとよりよいやり方でということをおられるのか。もう少し説明を。

(杉谷教育長)金築次長。

(金築子ども未来部次長)現状を申しますと、園児数が10人未満の園というのが、実は2園ございます。本来、家庭教育から集団教育に入る、初めての集団教育の場に入っていくのですけれども。もしかすると、家族よりも人数が少ないクラスというのが存在しています。そういったところで、適切な集団教育ができるのかと問われると、疑問符がつくところもあります。さらに、混合クラスでやっている幼稚園も実は10園あります。本来ですと、3、4、5歳と年齢に応じて、かなり差があるところを同じクラスで教育しなければいけないという実情もあり、これも疑問符がつくところです。適正規模園という言葉もあるのですが、それに向けてゼロベースから、再編も含めて、考えていきたいというところです。

(杉谷教育長)内藤委員。

(内藤委員)運営の方、先生たちは足りているということでしょうか。

(杉谷教育長)金築次長。

(金築子ども未来部次長)全体で25園あります。正規職員と会計年度任用職員も採用させていただいて、現在は足りているところです。特別支援教育も含めて、加配の職員も

配置させていただいておりますけれども、今、そういった運営をしています。ただ、すべてのクラスに正規職員をつけているのかというと、産休とか、育休代替のところには、会計年度任用職員をつけています。そういった、部分も正規職員でカバーできるような、体制に持っていきたいなと思っております。

(杉谷教育長)内藤委員。

(内藤委員)わかりました。ありがとうございます。

(杉谷教育長)金築委員。

(金築委員)単純に質問なのですが、閉園になった園の先生たちは、どのようにしておられるのでしょうか。

(杉谷教育長)金築次長。

(金築子ども未来部次長)今まで閉園になったところ、認定こども園になったところありますけれども、市職員ですので、異動という形で、どこかの市立幼稚園のほうに配置して働いていただいています。

(杉谷教育長)金築委員。

(金築委員)管轄は違うとは、と思いますが、保育所に行かれるということは、ないのですか。足りてないように聞いておりますので。

(杉谷教育長)金築次長。

(金築子ども未来部次長)出雲市も公立の保育所を4つ持っています。佐田に窪田と須佐、中央保育所、直江保育所と持っています。幼稚園、保育所の職員採用は、両方の免許を持っていることが必要になります。幼稚園から保育所、保育所から幼稚園へという人事異動もあります。ただ、民間の法人が運営されている保育所への異動ということはありません。

(杉谷教育長)金築委員。

(金築委員)保育所の方も、足りないと聞いているので、融通が利くといいのかなと思います。

ました。

(杉谷教育長)高橋委員。

(高橋委員)おそらく、この先も、幼稚園に通わせられる方は、減っていくという認識です。検討会議を立ち上げて、どう運営していくかを話し合っていかれるということですか。閉園に向けてという動きよりも、どう運営していくかということでしょうか。

(杉谷教育長)金築次長。

(金築子ども未来部次長)閉園も含めて検討していくのですけれども、閉園ありきで進めるのではなくて、すべての園をゼロベースで考えていこうということです。すでに1回会議を開いております。今週のところで、第2回の会議がありますけれども、フラットな状況で、ゼロから考えさせていただこうと思っています。

(杉谷教育長)他にないようですので、「市立幼稚園のあり方の検討について」は以上で、終了いたします。これで、報告について、終了いたします。

6 その他

(杉谷教育長)最後に、「その他」に移ります。教育委員会の後援について、常松教育政策長から説明をお願いします。

(常松教育政策課長)資料を用いて説明

(杉谷教育長)説明いたしましたけれども、何かご質問はございませんでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)意見、ご質問等ございませんので、その他については、以上といたします。

7 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長)次期教育委員会の日程ですが、9月27日(火)の、午後2時から、3階大会議室で開催いたします。

閉会

(杉谷教育長) それでは、以上をもちまして、令和4年8月出雲市教育委員会定例会を閉会といたします。

(教育政策課長) 皆さま、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】(午後3時50分)